



関係する地方公共団体等の意見

愛知県知事の意見：

「対応方針（原案）」に対して異議はありません。  
一般国道41号名濃バイパスは、名古屋市と岐阜県中濃地域とを結び、名神高速道路や名古屋高速道路とも一体となって、広域道路ネットワークを形成する大変重要な道路である。地元や沿線企業から慢性的な渋滞の緩和や物流の効率化に対する期待も大きいため、令和5年度開通予定の南新田交差点（扶桑町）から五郎丸交差点（犬山市）までの一日も早い6車線開通に向け、整備を加速すること。また、愛知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路として位置づけられていることから、電線共同溝の整備を推進すること。なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められたい。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」することは「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・名濃バイパスの6車線未整備区間では依然として、慢性的に渋滞が発生。朝ピーク時には通勤交通と物流交通が輻輳し、面的にエリア全体で激しい渋滞が発生。
- ・国道41号沿線地域には、交通の利便性を活かし、国内有数の製造業・運送会社等の大規模事業所が多数立地、さらなる企業進出が予定されており、名神高速小牧ICへのアクセス時間の短縮、速達性の向上が、物流活動の効率化に大いに貢献。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は約93%、用地取得率は100%（令和5年3月末時点）
- ・小牧市村中～小牧市横内西（延長1.3km）は、平成30年2月に6車線開通済み。
- ・小牧市横内西～大口町新宮2（延長1.1km）は、令和元年5月に6車線開通済み。
- ・大口町新宮2～大口町中小口3（延長1.2km）は、令和元年8月に6車線開通済み。
- ・大口町中小口3～大口町上小口2（延長1.3km）は、令和3年9月に6車線開通済み。
- ・大口町上小口2～扶桑町高雄（延長0.7km）は、令和4年11月に6車線開通済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・丹羽郡扶桑町高雄～犬山市五郎丸（延長1.4km）は、令和5年度に6車線開通見込み。早期開通に向けて引き続き工事を推進していく。
- ・また、電線共同溝整備について、早期の整備完了に向け工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

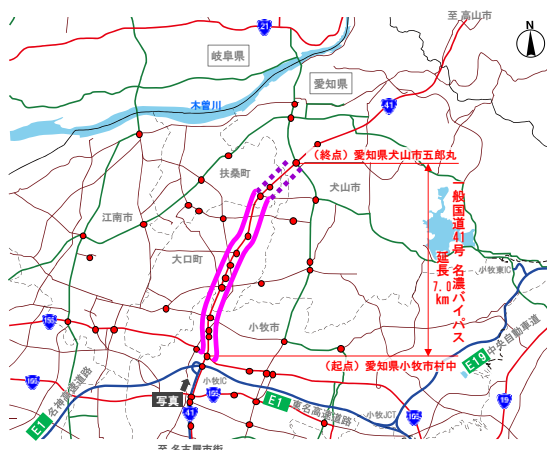
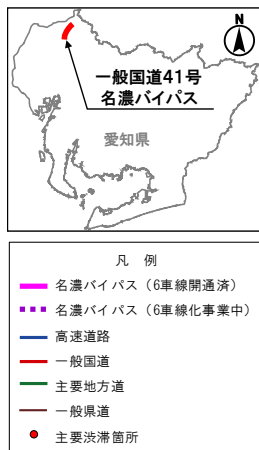
- ・舗装工事（下層・上層路盤）において、位置計測装置（GPS等）による転圧管理システムを活用し、締固め機械の走行軌跡を表示、計測する事で、現場密度試験の省略が可能となり、作業時間の短縮・省力化を図っている。
- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。